

# 神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第144号(通算)

令和6年3月22日(金)発行

3学期もあと一日の終業式を残すのみとなりました。4月になれば、新入生34名を加えて、新年度がスタートします。それぞれ進級した皆さんは、お互いを尊重し、晴れ晴れとした姿を頼もしく感じていることでしょう。さて私は、この川辺高校で、教頭として2年、校長として3年の計5年間を辺高で過ごしました。自然環境と教育環境の素晴らしいこの学び舎に勤務できたことと純朴な辺高生と接することが出来たことは、私にとってかけがえのない経験であり誉れです。



## 合格発表と合格者集合

令和6年3月13日(火)



## 南薩郷中ゼミ

令和6年3月16日(土)

昨年夏の『夏トライ・グレードアップゼミ』が中止になったことで、今年限りの限定学習会



が加世田高校で情報・国語・英語・数学の4つの授業と参加者の交流が開かれました。

## 全校朝礼講話

令和6年3月18日(月)

今日の講話は『言葉の捉え方』について。

### 言葉で変わる人生

- 「あたりまえ」を  
「ありがとう」というのが『感謝』
  - 「なりたいな」を  
「なってやる」というのが『決意』
  - 「もういいや」を  
「まだ待とう」というのが『忍耐』
  - 「つかれたなあ」を  
「がんばった」というのが『努力』
  - 「もうダメだ」を  
「これからだ」というのが『希望』
- 言葉を変えると人生は変わる

コミュニケーション能力は、これからの社会で欠かせない能力の一つだと思います。しかし、「言葉」は「言葉」を超えた影響力を持っています。言葉は、使い方を間違えると大きなしっぺ返しを伴うことがあります。ビジネスの世界では、言葉によって伝えるものには、「熱い思い」と「冷たい客観性」が必要だと言われています。両方がバランスよく整っていて、うまくいくのです。そこには、言葉の使い方として大事のことに「何を言ったか？」よりも「どう言ったか？」のほうが影響力が強くなり、ポジティブなメッセージには、言葉より動作や表情、感情といった非言語的な要素の方が影響するのだそうです。人は「何を言われたかは忘れるが、何を感じたかは覚えている」ものです。

この紹介した言葉を使えるようになり、自分の人生を切り拓いていきましょう。

# 全国選抜大会壮行会

令和6年3月18日(月)



なぎなた部が3月23・24日に伊丹市で行われる全国選抜大会に出場を記念し、が開催しました。

校長・生徒会長の激励の後、部長の二宮さんの

決意表明と応援団有志による激励の声援が行われました。

# 進路体験発表会

令和6年3月18日(月)

卒業したばかりの先輩達が8名も参加して自分の進路体験を発表する会を行うことが出来ました。在校生が疑問に思っている事柄について、卒業生からの生の回答を聴く絶好のチャンスでした。これから、将来について選択を迫られた時に、必ず役立つ金言です。その時の参考にしてください。その発表会の様子を写真で紹介します。



# クラスマッチ

令和6年3月19日(火)

今年度最後のクラスマッチは、雨天プログラムで男女ともバレーボールの試合でしたが、盛り上がっていました。男女とも1年生チームが優勝しましたが、メガホンを使った声援が体育館中に鳴り響き、クラスの団結が深まったようです。その時の様子を写真で紹介します。

